

北見市における景気動向調査報告書

< 第 IV 四 半 期 >

北 見 商 工 会 議 所

I. 調 査 要 領

1. 調査時点及び調査対象期間

(1) 調査時点 平成17年4月12日

(2) 調査対象期間 平成17年1月～3月期実績および平成17年4月～6月期見通しについて調査した。

2. 調 査 対 象

北見市に所在する企業を対象に、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の5業種150社を往復ハガキにより調査した。

3. 回 収 状 況

業 種 \ 企業数	対象企業数	回答企業数	回 答 率
製 造 業	30社	23社	76.7%
建 設 業	30社	24社	80.0%
卸 売 業	30社	24社	80.0%
小 売 業	35社	20社	57.1%
サービス業	25社	15社	60.0%
合 計	150社	106社	70.7%

注) 本調査結果の中で、D・I値とある記号は、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)で好転企業割合から悪化企業割合を差し引いた値を示す

Ⅱ．概 況

《 全 体 の 動 き 》

平成17年度第Ⅳ四半期<1月～3月>の北見市における業況は、前年比で「好転企業」17.9、「悪化企業」55.7、「好転」から「悪化」を差し引いたD・I値は△37.8となっています。

このD・I値を前期調査<17年度第3四半期>と比較してみると前回△39.3→今回△37.8と1.5ポイント好転、僅かであるが改善傾向を示しています。また前年同期比(△48.7)との比較でも、10.9ポイント好転しており徐々にはあるが改善の方向に向かいつつあります。

今回の業況を業種別で見ると製造業D・I値△39.1、建設業D・I値△41.7、卸売業D・I値△20.9、小売業D・I値△25.0、サービス業D・I値△73.3となっており、前年同期調査と比較するとサービス業以外では改善が見られるが、サービス業については悪化傾向を示しており、全体的には改善傾向にあるものの数値は高く依然として厳しい状況にあります。

また、来期の見通しを全業種で見ると「好転企業」14.2%「悪化企業」57.5%でD・I値△43.3と、前年同期見通し(△41.8)に比べ1.5ポイント悪化しており、前年同期並びに前期調査と比較してもほぼ同じの水準になっており、依然として先行きの見えない来期見通しとなっています。

《 業 種 別 の 動 き 》

1) 製 造 業

生産高

前年比で「増加企業」17.9%、「減少企業」55.7%、D・I値△37.8と前年同期に比べ5.2ポイントの改善、しかし、前期調査との比較では1.4ポイント悪化しており、前期では落ち着きを見せていたが、ここに来て僅かであるが悪化傾向を示しております。

採 算

前年比で「好転企業」13.0%、「悪化企業」60.9%、D・I値△47.9と前年同期に比べ0.4ポイントの悪化、前期調査との比較でも7.0ポイント悪化、生産高と同様に悪化傾向を示しています。

来期見通し

業況D・I値△34.7、生産高D・I値△21.8、資金繰りD・I値△30.4と、前年同期に比べすべてのD・I値は改善を示しています。また、前期調査との比較でも僅かではあるがすべてのD・I値は改善傾向を示しており、持ち直してきているが、まだ予断を許さない来期見通しとなっています。

2) 建 設 業

完成工事高

前年比で「増加企業」20.8%、「減少企業」66.7%、D・I値△45.9と前年同期に比べ16.6ポイントの大幅な改善傾向を示しているが、前期調査との比較では22.1

ポイントの大幅な悪化傾向を示しており、まだまだ予断を許さない厳しい状況にあります。

採 算

前年比で「好転企業」16.7%、「悪化企業」58.3%
D・I値△41.6と前年同期に比べ20.9ポイントの大幅な改善傾向を示しており、前期調査との比較でも1.3ポイントと僅かではあるが改善傾向を示しており、採算については徐々に以前の水準に戻りつつあります。

来期見通し

業況D・I値△58.4、完成工事高D・I値△66.6、資金繰りD・I値△37.5と前年同期に比べ完成工事高D・I値以外は改善傾向を示しています。また、前期調査との比較ではすべてのD・I値は悪化傾向を示しており、依然として暗い来期見通となっています。

3) 卸 売 業

売 上 高

前年比で「増加企業」16.7%「減少企業」45.8%、
D・I値△29.1と前年同期に比べ7.3ポイント改善傾向を示しています。また、前期調査との比較では逆に7.3ポイント悪化しており、厳しい状況にあります。

採 算

前年比で「好転企業」29.2%、「悪化企業」37.2%、
D・I値△8.0と前年同期に比べ12.8ポイントの大幅な改善傾向を示しています。また、前期調査との比較でも13.8ポイントの大幅な改善傾向を示しており、採算については明るさが見える状況となっています。

来期見通し

業況D・I値△37.5、売上高D・I値△16.7、資金繰りD・I値△25.0と前年同期に比べ売上高D・I値以外は悪化傾向を示しています。前期調査との比較でもほぼ同じ状況となっており、全体的には厳しい来期見通となっています。

4) 小 売 業

売 上 高

前年比で「増加企業」25.0%「減少企業」55.0%、
D・I値△30.0と前年同期と比べて31.9ポイントと大幅な改善傾向を示しています。また、前期調査との比較でも10.9ポイント改善傾向を示しており、ここにきてようやく明るさの見える状況になってきておりますが、依然として数値も高く厳しい状況にあることに変わりはありません。

採 算

前年比で「好転企業」10.0%「悪化企業」55.0%、
D・I値△45.0と前年同期と比べて12.2ポイントの大幅な改善傾向を示しています。しかし、前期調査との比較では逆に4.0ポイント悪化傾向を示しており、依然として厳しい状況にあることに変わりはありません。

来期見通し

業況D・I値△15.0、売上高D・I値△15.0、資金

繰りD・I値△25.0と前年同期と比べすべて大幅な改善傾向を示しており、また、前期調査との比較でもすべてのD・I値は改善傾向を示しており、一部明るさが見えてきているものの依然として予断を許さない来期見通しとなっています。

5) サービス業

売上高

前年比で「増加企業」6.7%、「減少企業」73.3%、D・I値△66.6と前年同期と比べ9.4ポイント悪化傾向を示しています。また、前期調査との比較でも8.7ポイント悪化傾向にあり、依然として数値も高く厳しい状況にあります。

採算

前年比で「好転企業」6.7%、「悪化企業」86.6%、D・I値△79.9と前年同期と比べ18.0ポイントと大幅な悪化傾向を示しており、前期調査との比較でも11.5ポイント悪化しており、売上高同様に依然として数値は高く厳しい状況にあります。

来期見通し

業況D・I値△79.9、売上高D・I値△66.6、資金繰りD・I値△66.7と前年同期と比べD・I値はすべて悪化傾向を示しています。前期調査との比較でもすべて悪化傾向を示しており、他の業種と比較して一番厳しい来期見通しとなっています。

業 種 別 経 営 上 の 問 題 点

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
製 造 業	同業者間の競合	得意先減少	諸経費増	人件費増	人材不足
建 設 業	同業者間の競合	得意先減少	諸経費増	人件費増	売掛金回収難
卸 売 業	同業者間の競合	得意先減少	人材不足	人件費増	諸経費増
小 売 業	得意先減少	同業者間の競合	諸経費増	人材不足	売掛金回収難
サービス業	同業者間の競合	得意先減少	諸経費増	人件費増	資金調達困難
合 計	同業者間の競合	得意先減少	諸経費増	人件費増	人件費増

※ 問題点は、各業種とも3つ選択。